

18禁

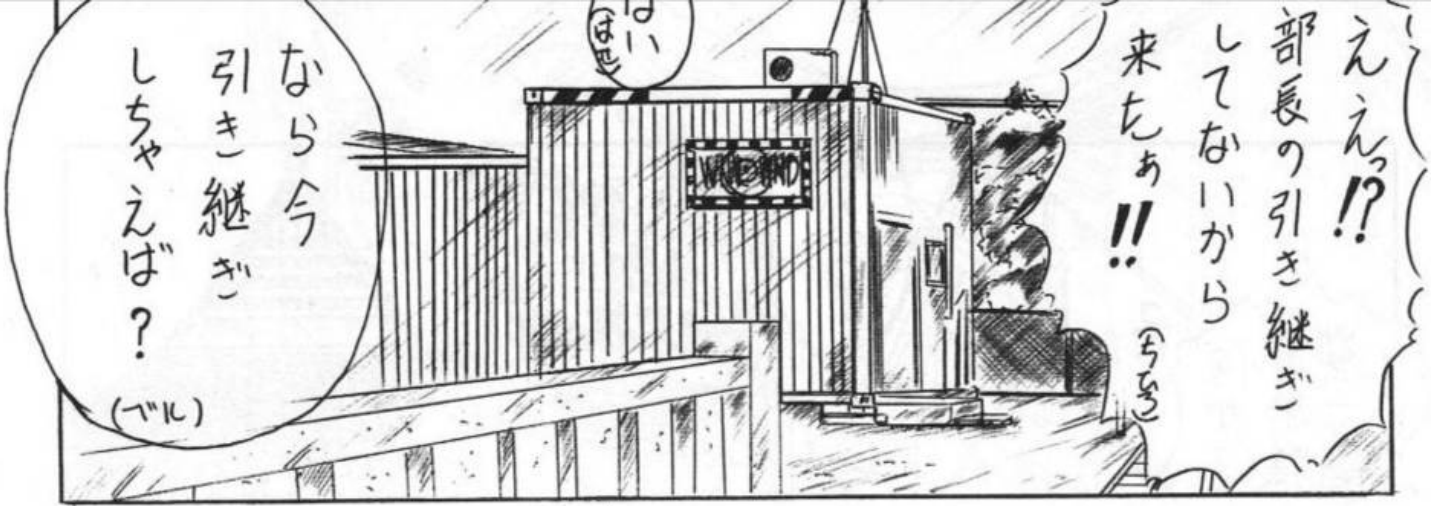
ADULT  
ONLY

あれが書きたい！3

AH I MY GODDESS







なら今  
引き継ぎ  
しちゃえは？

(ベル)

(カウ)



ヒエッ?

やっやですわ!  
私にはでき  
ません!!



よし!

長谷川を  
新部長に  
任命する!!

部長に指名  
された者は  
拒否する



権利を  
有しない!  
(by部則まり)

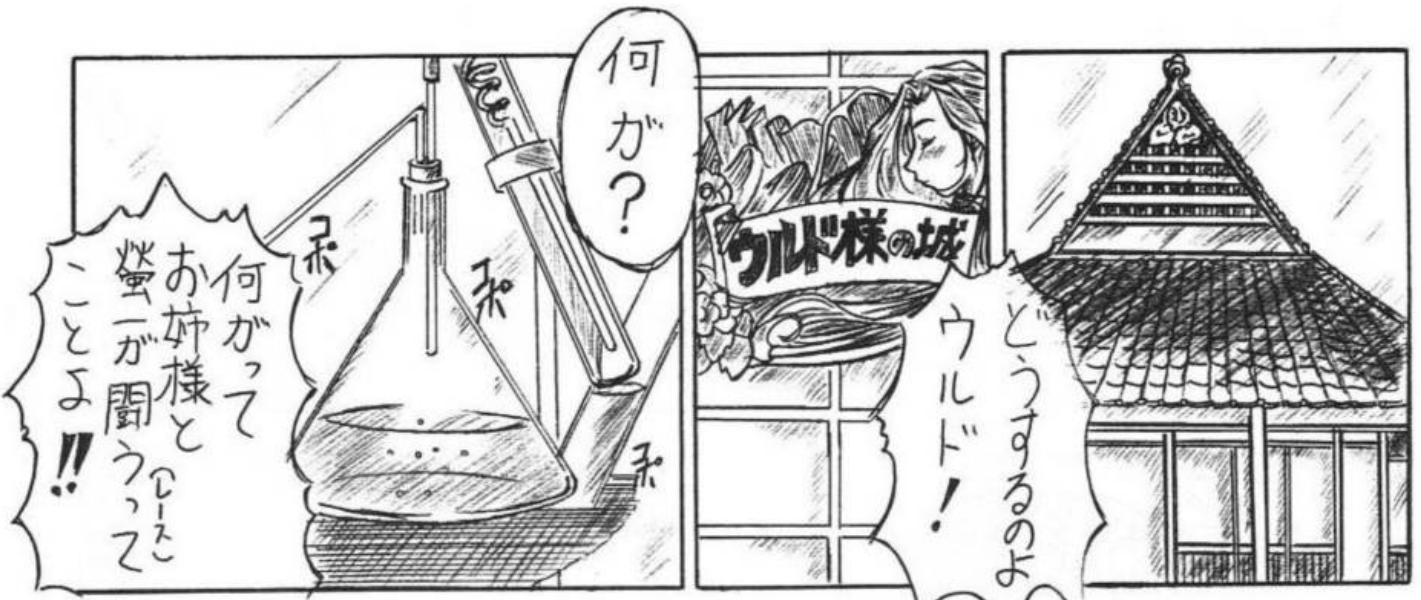


リースで  
権利を  
もぎとり  
なさい!!



ベルちゃん  
長谷川さん  
についてあげ  
てね

はい



何が？

何がって  
お姉様と  
螢一が闘うって  
ことよ！！

ウルド様の城

ウルド！

どうするのよ



そっとうだけど

!!

ごしよ



いいんじゃないのあ

それに

直接闘う  
わけじゃな  
いしねえ



ちよっとー  
気になるその  
アヤシすぎる  
液体は何に？

えっあー  
これはあ

キキ





螢一の味方を  
する為の薬に  
決ってるでしょ

片方にだけ  
女神がついて  
るなんて納得  
がきかないしね



その通り  
だわー  
お姉様は

螢一が勝って  
信じてる  
はずよ

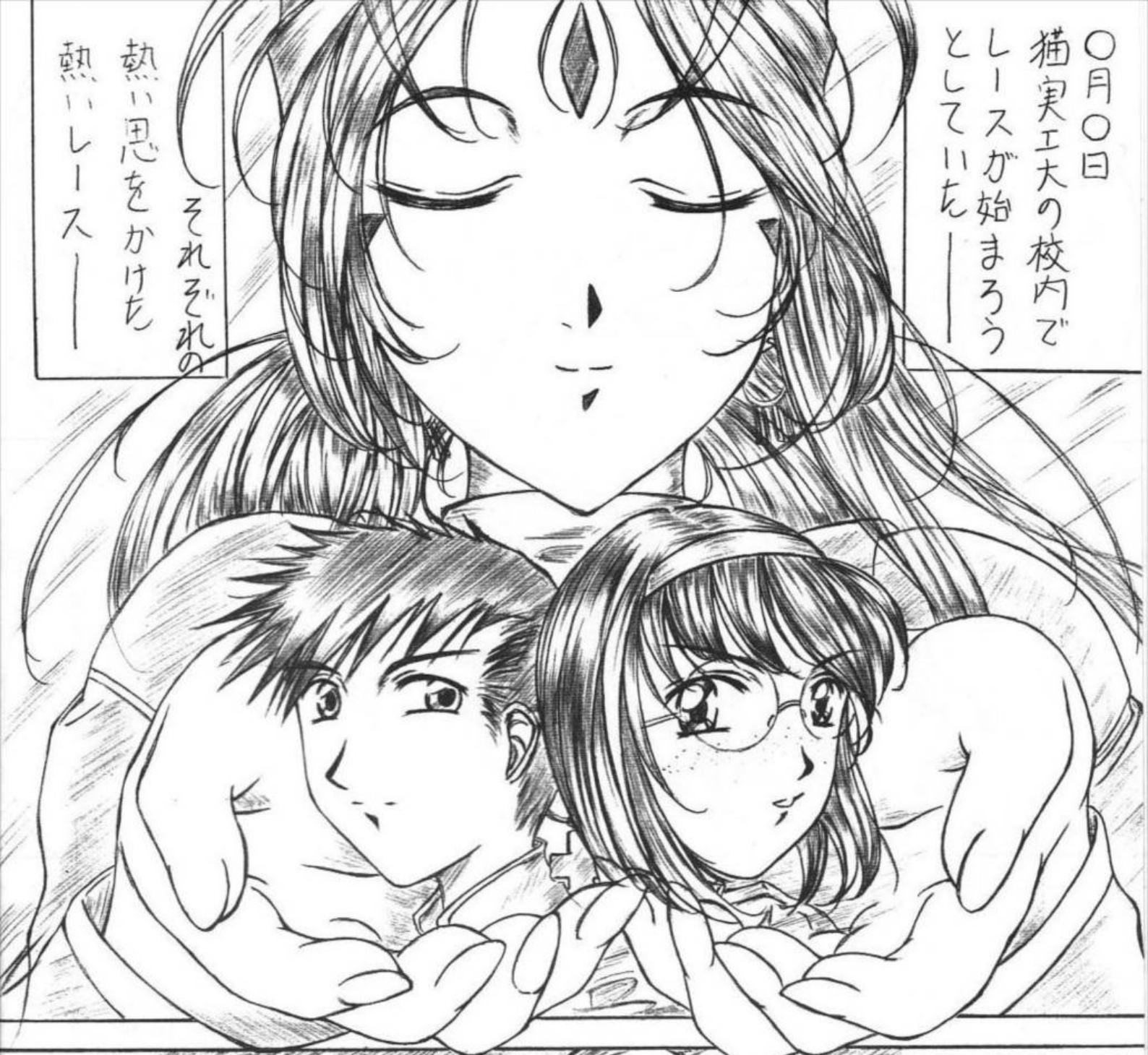


螢一の  
味方になる!!  
x2

だから  
x2

○月○日  
猫実工大の校内で  
レースが始まろう  
としていた――

それそれの  
熱い思をかけた  
熱いレース――



同日、同刻  
同場所にて  
違った意味で  
熱く燃える

2人組



そして熱いレースの火  
をきかす刀を……



長谷川の  
部長辞退を  
賭けた勝負

長谷川が全力で  
戦っているから  
俺も全力で  
戦うっ!!



こんな  
機会でも  
なければ

ベルダンティーが  
自分の意志で  
俺と戦うって  
決めたから。。。

それにも俺は  
全力で戦う

キーンと  
螢一さんと  
競うことも  
ないから。。。



キキキ

ふりきった  
はずなのに  
また後ろにいる？

ならオレも  
そのルート  
を使わせ  
て？!!

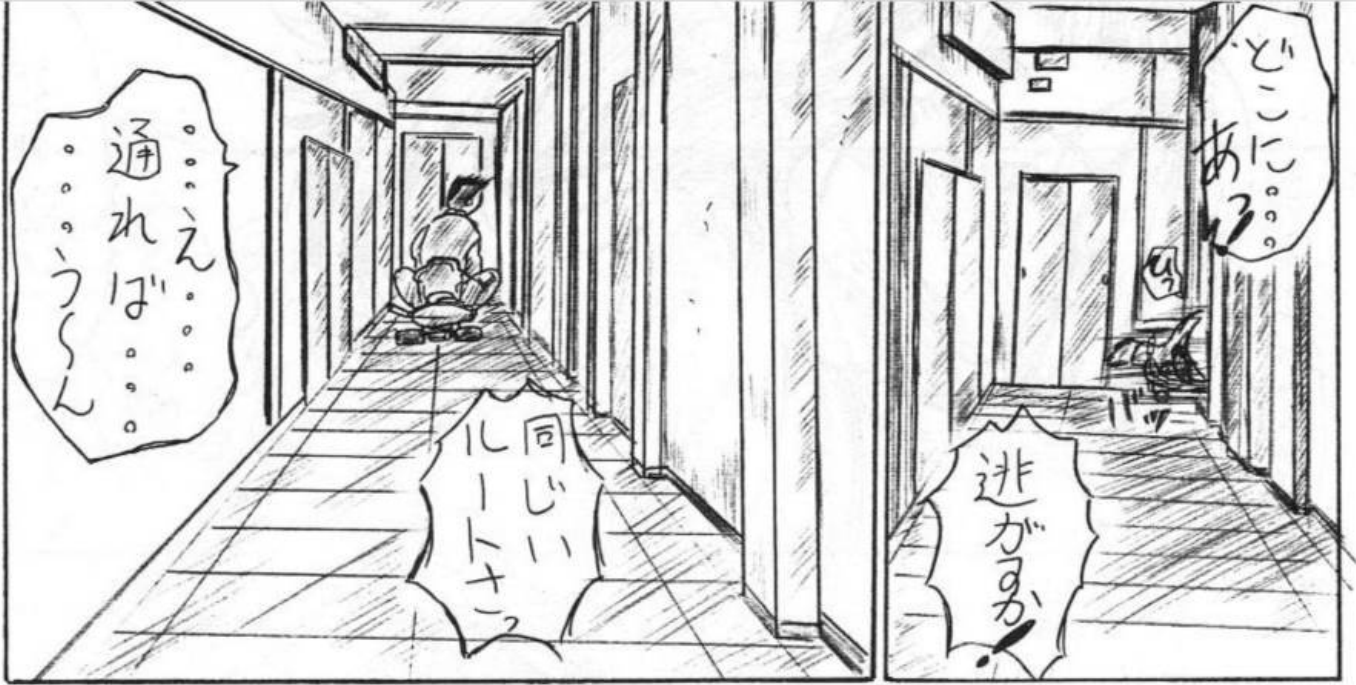


うそっ？  
はれち  
たの？!!



なぜ。。。!!  
そっか？!!  
別ルートか？!!



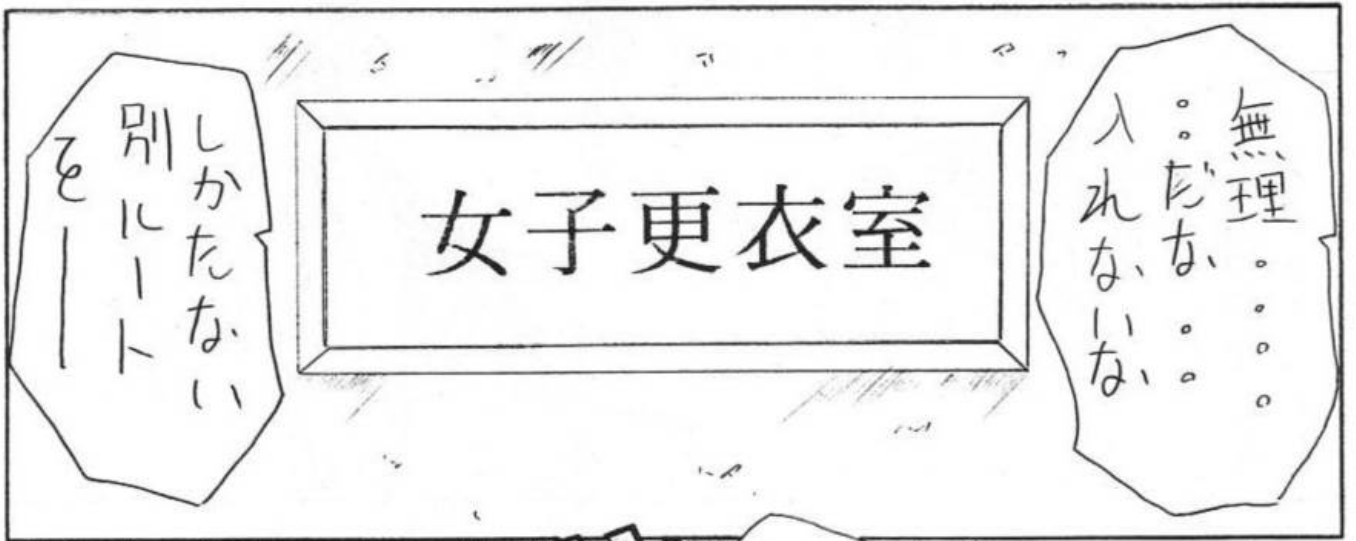


。。。。え。。。。  
通れは。。。。  
。。。。うっすん。。。。

どこに。。。。  
ある。。。。

同じ。。。。  
ルートの。。。。

逃がまか



女子更衣室

しかたない  
別ルート  
を

無理。。。。  
。。。。た。。。。  
入れない



わっ

ば

そんな事で  
いいと思っ  
てるの？！



ぬうん

うっ  
うっ  
。。。。はあ!?





。。。そこを  
通れし？

うん♡

やだっ!

。。。ちっ



それに  
なんで  
ここに  
ー

螢一  
私がないで  
ここに来たし  
思ってるの？

あなたの  
味方だか  
らよ

それに  
片方にだけ  
女神がつく  
んだ不公平  
だしね



それに螢一は  
絶対に勝た  
なきゃいけ  
ないのー

お姉様の  
為に絶対!



だから  
私達が  
来たのよ

なっ  
カキ  
カキ  
よしっ  
出来た  
ギョ  
ギョ



あんたの考えが  
遠う気がする

ウルドガ  
ごしま

あたしの  
考えが  
あつて  
あんなが  
変!  
なのよ



まあ二人共  
落着けよ

なによ!! x2

オレは不公平  
だとも思っ  
ないし……  
それによ



ベルガンティ  
オレが勝つとも  
信じていない

ベルガンティは  
今、長谷川と  
全力でオレとの  
シースを戦って



むしろ  
オレとの

リースを

楽しんで  
ごると思

だから  
君達の  
助けは...  
要らない



そっ...  
なら強制的に  
味方になるわ



私はそんな  
いいことなんて  
ゆるしてない







ピポー……？  
ほしゅーの  
ぼけだーん  
だけーん



嫌やああ

お遠うで  
しよっ！

なやっひ  
なやっめ



あんたいい  
かげんに  
やめ...  
ひっ...



ずる...  
...?  
...?

なごも  
やんか  
た



あーん



ちよっし!  
止めな!  
いよ!

























あ...もう  
ひう...アッ  
知らない?  
あがからん

もん...あ  
もん...あ

アッ  
アッ

あ  
あ  
あ

あ  
あ















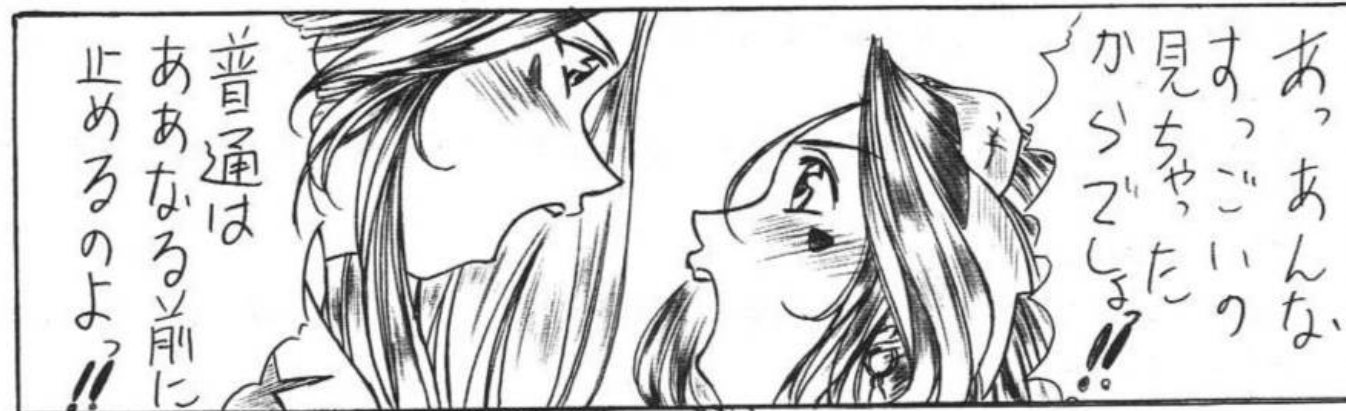
行っちゃった……



く……あんたこそ何オナツてんのよ



ねえウルドあの葉……失敗でしょ



あ、あんなあつごいの見ちゃったからでしょ!!

普通はああなる前に止めるのよ!!



な、何かやな予感が……

いっ! あの子には絶対にないしまだからぬっ!!! X2 (スクルドウルド)



## 『岸田OFFICEの部屋』

- 圭、ケイ 「今日は御来店誠に、ありがとうございます」
- 圭 「今回も無事に発行できてよかったよかった」
- ケイ 「どこがよかったんですかっ！遅れてるじゃないですかっ！！」
- 圭 「……すみません遅れました。今回も全て私が悪いんです」
- ケイ 「お待ちしていただいた読者の方々には、大変ご迷惑をお掛けしてしまい誠に申し訳ありませんでした。心から謝罪いたします」
- 圭 「誠に申し訳ありませんでした。これに懲りず、岸田OFFICEをこれからも宜しくお願い致します」
- ケイ 「あと、今回の『あれ書き』は『恵 編』の予定でしたが、変更して『ウルド』編になってしまいました。ごめんなさい」
- 「恵ちゃんは『あれ書き・番外編』で書きたいと思います」
- 圭 「番外編って何？」
- ケイ 「圭さんが予定してる番外編のお話です」
- 圭 「…なんで知ってるの？」
- ケイ 「この間、圭さんが『あれ書き・3』の表紙を書いているときにボソッとやってたからです」
- 圭 「……地獄耳なんだね……」
- ケイ 「遺伝みたいです。ところで、表紙の『ウルドちゃん』が子供っぽく感じるんですけどぉ～気のせいですかねぇ？」
- 圭 「そんなこと言うんだったら、自分で書け！！」
- ケイ 「前号でのお約束ですから仕方ないじゃないですかぁ～」
- 圭 「くっ～、やな奴」
- ケイ 「でも、とてつもなくヘタクソなのかもって思ってたら、そんなことなかったんですね。安心しました」
- 圭 「馬鹿にしてるだろお前」
- ケイ 「いいえ、同レベルのヘタクソで安心しちゃって緊張がほぐれました。よかったよかった」
- 圭 「しかも絵がよく似てるし」
- ケイ 「仕方ないじゃないですか。絵の好みが一緒なんですから」
- 圭 「……まっ、いっか」
- 「それより、今回はなんでピーのドアップがあるの？修正するこっちの身になってよ！すごい困っちゃうんだからさ！！」
- ケイ 「ひとえにっ！！読者のタメですっ！！！！」
- 「な～んて、ウツソでえーす。ただの気まぐれでえーす」

- 圭 「いじめだ……絶対オレに対しての…いじめだ」
- ケイ 「いじめてなんかいないでちゅよお〜。はぁーい、いい子でちゅねえ〜」
- 圭 「オレはガキンちょじゃないっ！赤ちゃん言葉もやめいっ！！」
- ケイ 「さ・て・と、ページが無くなっちゃいそうなので、『あれ書き 番外編』の話をしましょう」
- 圭 「…分かりました。本当は内緒でだそうと思っていたんだけどばれちゃったんだから仕方ない。白状します」
- 「予定しているのは『ガン〇〇シード』か『フルメ〇〇パニック』か『R. O. 〇』か『カレ〇〇スター』かな」
- ケイ 「……多すぎじゃないですか？」
- 圭 「そうだね。多すぎだよ。はぁー悩むうっ」
- ケイ 「で、どれにするんですか？」
- 圭 「全部書きたいんだぁー……っ！！」
- ケイ 「はいはい、分かりました。だったら放送終了になった『ガン〇〇シード』がいいと思いますよ。皆が覚えてるうちに」
- 圭 「まだ再放送がやってるぞ！！」
- ケイ 「深夜でしょ」
- 圭 「うん…。でもあれって最後の方は、なんか無理やり話をもっていったなって感じがして、前半の良さが台無しの感じがした」
- ケイ 「そうですね。なんか、予算の関係で放映回数を削って、無理やり最終回に持っていった感じがしましたね」
- 圭 「だろ、だからオレはDVDで無理やりな感じの後半を、丁寧に修正したOVAにしてほしいなあと、願ってる。無理だろうけど……あと、最終話後はどうなったとかの話はOVAにしてほしい」
- ケイ 「なんか、話がずれてる気がします……。そんなこと考えてる暇があったら早く書いたらどうなんですか？」
- 圭 「今、どのキャラを書こうか思案中なのさ」
- ケイ 「候補は？」
- 圭 「ラクスとキラかフレイとサイのどっちか」
- ケイ 「だったら簡単ですね。ラクスとキラに決定ですね」
- 圭 「なんで？」
- ケイ 「私が読んでみたいからです」
- 圭 「なら、目を閉じてごらん」
- ケイ 「……分かりました」
- 圭 「さあっ！イメージしましょうっ！ラクスとキラがあーんなことや、こーんなことをしてすっごいことになってます」



- ケイ 「全然分かりません。分からないからちゃんと絵とセリフにしてください」
- 圭 「分かりました。次回の『あれが書きたい』は『番外編』として、『ガン〇〇シード』で、ラクスとキラの絡みを書きたいと思います」
- ケイ 「似てないんでしょうねぇ・・・私と一緒に」
- 圭 「身も蓋もないこと言わないでよ」
- ケイ 「次回は私がちゃんとサポートしますから頑張りましょう」
- 圭 「ありがとうございます」
- 「次回作も『皆様のお役に立てる同人誌を書こう』を基本に頑張って書きますので興味が少しでもおありでしたら手に取ってみてください」
- ケイ 「発行予定は冬頃だと思われますので宜しくお願いします」
- 「委託先の書店様は今回と一緒に書店様になると思います」
- 圭、ケイ「本日は御来店誠にありがとうございました。またの御来店を心からお待ちしております」

■無断転載・複製等禁止■

[あれが書きたい3]

2003年12月初版発行

発行／ 岸田OFFICE  
著者／ 岸田 ケイ・岸田 圭  
代表／編集／岸田 圭  
印刷／共信印刷株式会社 様



猫実王夫の校内で  
しーすが始まろう  
としていた

同日同校  
同場所にて  
違、ん意味で  
熱く燃える



それぞれの  
熱い思いをかけ  
熱いレース——



二人組

そして熱いレースの火  
—ぶんが切られた...

presented by  
KISIDA OFFICE



。。。そこを  
通れし？

うん  
やだ!



。。。  
かさん  
—でに

螢一  
私がなんで  
ここに来たし  
思ってるの？

あなたの  
ごまか  
しに  
片方だけ  
女神がつか  
んて不  
公平な



だから  
私達が  
来たよ

か  
れ  
れ  
よ  
し  
っ  
出  
来  
た



それに螢一は  
絶対に勝  
たなきゃ  
ないの——

お姉様  
為に絶対